

なぎなたニュース

県民体育大会なぎなた競技の結果

11月14日に長崎市の諏訪小学校において、県民体育大会のなぎなた競技が行われ、なぎなた教室、松浦高校の生徒も参加し、日ごろの練習の成果を発揮しました。

小中学生・段外の部の演技競技では、牟田麻里彩・磯本紗穂組が2位、田中祐輝・江島静香組が3位、試合競技では、川田そらさんが3位となり、また高校の部の試合競技では、鈴立千尋さんが1位となりました。

すべての競技が終了した後、曲に合わせてなぎなたの型を演じる「リズムなぎなた」が行われ、この日は「ドラえもののうた」に合わせて、長崎市のなぎなたクラブの生徒と一緒に楽しく汗を流しました。



なぎなた競技特別強化コーチ招へい事業

なぎなた競技の特別強化コーチ招へい事業（主催：長崎県競技力向上対策本部、主管：長崎県なぎなた連盟）が11月22日、23日、松浦高校で行われ、「なぎなた教室」の生徒が参加しました。

この日は、財団法人全日本なぎなた連盟の範士、砂川邦子先生から、体さばき、なぎなたの握り方の奥深さなどを学び、なぎなたに打ち込む生徒たちの姿勢は一段とりりしくなりました。



松浦市は平成26年長崎国体「なぎなた競技」の開催地です



ソフトバンクホークス SoftBank HAWKSベースボールキッズ2009 in 九州が12月5日、松浦市民運動公園グラウンドで行われました。

このイベントは同球団が少しでも多くの子どもたちに野球をはじめスポーツの素晴らしさを知ってもらうことを目的に、九州・沖縄・山口の10か所で毎年開催しているものです。

この日野球教室を行ったのは、同球団の森福允彦投手、藤岡好明投手、荒川雄太捕手、松田宣浩内野手、江川智晃外野手、内田好治投手の6人。市内外から公募で選ばれた小学1年生から6年生の児童約180人は、年齢や経験ごとに5つのグループに分かれ、選手からキャッチボールの仕方



やバッティング、守備、走塁などを楽しく学びました。

後半にはプレゼント抽選会、選手とハイタッチなどをして交流を深めました。

参加した吉田海里くん（福島・土谷、10）は「今日はプロ野球選手と楽しく触れ合い、良い経験ができました。中学・高校に行っても野球を続けて、将来はメジャーリーガーになりたいです」と話していました。



中世の松浦 (14) 鷹島海底遺跡

左の写真は高さ16・5^{センチ}の木像です。自然木のねじれた部分を用い、樹木の根元に安坐する坊主頭の人物像（仏僧？）を意識して彫られたもので、金属の刃物で切断、あるいは面取りされた部分と、自然な木目が残る部分があります。人物像の頭部と肩部から右腕部にかけては、かなり細かい細工が認められるものの、左腕部と腹部および下半身部分は自然木の形状をそのまま残しています。人物像の背中にあたる部分には口径1^{センチ}ほどの穴が穿たれており、穴の周辺には擦れたような痕跡があることから紐状の素材を通していたことが考えられます。

樹木は種類によって、形態・材質・生態などのさまざまな異なる特徴を持っており、木製品の用材選択の背景を考える上で欠かせない情報です。中でも硬さ・重さ・強靱さ・腐り難さといった材質は重要な情報です。これらの特徴から樹種を同定する方法があります。この木像は樹種同定から日本には分布せず、中国・インドネシア・マレーシア・インドに分布するAltingia属であることが確認されています。

元の兵士が、この仏像に向かって無事に祖国へ帰れるように日々祈っている状況が目に浮かびます。



▶ 鷹島歴史民俗資料館で展示中

ジェシカ先生 (アメリカ出身)

Hong Kong and Taipei 香港と台北

昨年9月のシルバーウィークに、私の「行きたいところ」リストの中から2つを消すことができました。その2つとは、香港と台北です。それぞれ5泊滞在しました。一人の海外旅行は初めてだったので、少し不安でした。香港の空港からバスで市街に行き、滞在するホテルがまちの中心にあるとわかりました。このことは、良くもあり悪くもありました。多くの美術館、お店、観光地が近くにあることは良かったのですが、交通量が多かったです。また、私が一人で立っていると、店員が、時計、スーツ、ネックレスなど多くのものを売りつけようとしてきました。でもすぐにこの状況には慣れて、香港滞在の終わりの方では、これらの人々を無視することができました。香港滞在中は、いくつかの寺院、美術館、遊園地、野生生物保護区を訪れました。とても楽しい時間を過ごすことができ、いくつかまた訪れてみたいと思いました。

香港訪問の後には、直行便で台湾の台北に行き、5日

間を過ごしました。台北でも寺院や美術館に行きましたが、一番好きだったのは台北101です。ドバイで建設中のビルの建設が終わるまでは、この台北101が世界で最も高いビルということになりますから、「私は世界で最も高いビルにいた」と言うことができます。台北の食べ物もおいしくて、たくさんの地元の料理を食べました。それが何なのかほとんどわかりませんでしたが、とにかくおいしかったです。

私は旅が大好きです。日本にいる間にたくさん旅ができることを願っています。次の目標はカンボジアとシンガポールです。

